主題研究通信⑥

令和７年１月２４日（金）
研究主任

自ら考え、伝える力の育成

～書く活動を中心にした、学習過程・継続的な取り組みの工夫の研究～

いよいよ１月２９日（水）の５時間目に、１年２組が授業を公開します。自習計画をよろしくお願いします。授業を参観していただく前に、低学年の実態や、目指す子ども像を確認しておいてください。

低学年の実態（５月の話し合いより）

・自分たちが経験したことなど、書きたい気持ちがあると、文章を書こうとする。
・文章を書くことに慣れていない。
・言葉を知らない。（つなぐ言葉）

目指す子どもの姿

低学年	・経験したことを基に、順序に沿った文章を書ける子ども ・文章を書くことに、なれている子ども
中学年	・相手に伝わるように言葉を選んで自分の考えや思いを伝える文章を書ける子ども
高学年	・自分の考えが伝わるように、筋道の通った文章を書ける子ども

今回の学習では、**【手立て１】書く力を育成するための学習過程の工夫**に着目して、授業を見ていただいて、手立てについてみてください。

掲示物、机間指導（声掛け）、板書、ヒントカード、できない児童への手立て、学習形態など

今回は、タブレットを使って協議会を行います。いつもの観点で授業を見てください。ご指導お願いします。また、今回の協議会は来年度への見通しを持てるような話し合いができるといいなと、考えています。授業を見ながら、来年度は、どのような手立てで『自ら考え、伝える力の育成』を目指すのか、ぜひ、考えをまとめていてください。